

令和4年3月
大竹市議会定例会（第2回）議事日程

令和4年3月25日10時開会

日 程	議案番号	件 名	付 記	
第 1		会議録署名議員の指名		
第 2	議案第 2号	令和4年度大竹市一般会計予算	予 算 特 別 (原案可決)	
第 3	議案第 3号	令和4年度大竹市国民健康保険特別会計予算		(原案可決)
第 4	議案第 4号	令和4年度大竹市漁業集落排水特別会計予算		(原案可決)
第 5	議案第 5号	令和4年度大竹市農業集落排水特別会計予算		(原案可決)
第 6	議案第 6号	令和4年度大竹市港湾施設管理受託特別会計 予算		(原案可決)
第 7	議案第 7号	令和4年度大竹市土地造成特別会計予算		(原案可決)
第 8	議案第 8号	令和4年度大竹市介護保険特別会計予算		(原案可決)
第 9	議案第 9号	令和4年度大竹市後期高齢者医療特別会計予算		(原案可決)
第10	議案第10号	令和4年度大竹市水道事業会計予算		(原案可決)
第11	議案第11号	令和4年度大竹市工業用水道事業会計予算		(原案可決)
第12	議案第12号	令和4年度大竹市公共下水道事業会計予算	(原案可決)	
第13		議員派遣について		

○会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第2号から日程第12 議案第12号（報告・討論・表決）
- 日程第13 議員派遣について（表決）

○出席議員（15人）

1番 賀屋 幸治	2番 藤川 和弘
3番 原田 孝徳	4番 小中 真樹雄
5番 中川 智之	6番 小田上 尚典
7番 北地 範久	8番 西村 一啓
9番 和田 芳弘	10番 網谷 芳孝
11番 児玉 朋也	12番 山崎 年一
13番 日域 究	14番 細川 雅子
15番 寺岡 公章	

○欠席議員（なし）

○説明のため出席した者

市 長	入山 欣郎
副 市 長	太田 勲男
教 育 長	小西 啓二
総 務 部 長	中村 一誠
市 民 生 活 部 長	三原 尚美

健康福祉部長兼福祉事務所長
建設部長
上下水道局長
消防局長
総務課長併任選挙管理委員会事務局長
企画財政課長

豊原学
山本茂広
古賀正則
佐伯和規
柿本剛
三井佳和

○出席した事務局職員

議会事務局長
議事係長

三上健
加藤豪

10時00分 開議

○議長（賀屋幸治） 定足数に達しておりますので、これより直ちに本日の会議を開きます。
これより直ちに日程に入ります。

~~~~~○~~~~~

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（賀屋幸治） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。  
会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において2番、藤川和弘議員、  
3番、原田孝徳議員を指名いたします。

~~~~~○~~~~~

日程第2～日程第12〔一括上程〕

- 議案第 2号 令和4年度大竹市一般会計予算
- 議案第 3号 令和4年度大竹市国民健康保険特別会計予算
- 議案第 4号 令和4年度大竹市漁業集落排水特別会計予算
- 議案第 5号 令和4年度大竹市農業集落排水特別会計予算
- 議案第 6号 令和4年度大竹市港湾施設管理受託特別会計予算
- 議案第 7号 令和4年度大竹市土地造成特別会計予算
- 議案第 8号 令和4年度大竹市介護保険特別会計予算
- 議案第 9号 令和4年度大竹市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第10号 令和4年度大竹市水道事業会計予算
- 議案第11号 令和4年度大竹市工業用水道事業会計予算
- 議案第12号 令和4年度大竹市公共下水道事業会計予算

○議長（賀屋幸治） 日程第2、議案第2号令和4年度大竹市一般会計予算から、日程第12、
議案第12号令和4年度大竹市公共下水道事業会計予算に至る11件を、一括議題といたしま
す。

本11件に関し、委員長の報告を求めます。

予算特別委員長、寺岡公章議員。

予算特別委員会議案審査報告書

令和4年3月9日、第2回定例会において本委員会に付託の議案は、審査の結果、下記
のとおり決定したので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

| 議案番号 | 件名 | 審査の結果 |
|-------|----------------------|-------|
| 議案第2号 | 令和4年度大竹市一般会計予算 | 原案可決 |
| 議案第3号 | 令和4年度大竹市国民健康保険特別会計予算 | 原案可決 |

| | | |
|--------|------------------------|------|
| 議案第4号 | 令和4年度大竹市漁業集落排水特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第5号 | 令和4年度大竹市農業集落排水特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第6号 | 令和4年度大竹市港湾施設管理受託特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第7号 | 令和4年度大竹市土地造成特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第8号 | 令和4年度大竹市介護保険特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第9号 | 令和4年度大竹市後期高齢者医療特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第10号 | 令和4年度大竹市水道事業会計予算 | 原案可決 |
| 議案第11号 | 令和4年度大竹市工業用水道事業会計予算 | 原案可決 |
| 議案第12号 | 令和4年度大竹市公共下水道事業会計予算 | 原案可決 |

令和4年3月16日

大竹市議会議長 賀屋 幸治 様

予算特別委員長 寺岡 公章

○予算特別委員長（寺岡公章） 去る3月9日の本会議におきまして、私ども委員8名で構成されました予算特別委員会に御付託いただきました、令和4年度大竹市一般会計予算ほか10件の議案につきましては、14日、15日、16日の3日間、委員会を開催し、その結論を得ておりますので、委員会審査の概要と結果につきまして、御報告を申し上げます。

3月10日に開催されました第1回予算特別委員会におきまして、不肖、私、寺岡が委員長に、藤川委員が副委員長に互選されました。身に余る大役を務めさせていただき、委員各位の御協力により、本日報告の運びとなりましたことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

審査の内容について御報告申し上げますが、3日間にわたる質疑応答や御意見など、膨大なものとなっておりますので、要約しての報告となりますことを御了承いただきたいと思っております。

初めに、第1款議会費においては、質疑はございませんでした。

続きまして、第2款総務費では、まず、「令和4年度はふるさと納税促進事業が6億円

計上してあり、令和3年度も何度か増額補正をして好調であると思うが、返礼品の基準と新しい返礼品を考えているのか伺う」との質疑に対しまして、「返礼品の基準については、国の定めがある。主な基準は、区域内において生産されたもの。次に、区域内において返礼品等の原材料の主要な部分が生産されたもの。次に、区域内において製造・加工の主要な部分を行うこと。最後に、区域内において提供される役務といったものがある。

新しい返礼品については、クラウドファンディングを利用して、市内の新たな商品の開発を行いたいと考えている。今後、総務課、産業振興課、企画財政課の3課で制度の統括や新たな商品の開発や積極的な広報・広告など連携して行い、寄附額の増加を目指したいと考えている」との答弁がございました。

次に、「船舶公募等記念品について、公募方法や時期と予算の内訳について伺う」との質疑に対しまして、「船名公募については、利用者に親しみやすい船名を公募したいと考えているが、募集方法は検討段階である。時期については、造船会社と協議をすることで、秋頃までには進めたいと考えている。募集については、主に乗船された方や市民の方に向けて発信をしたい。記念品については、阿多田島汽船との協議の中で応募人数を予測し、1人数千円程度で計上しているが、公募する段階で検討をしたいと考えている」との答弁がございました。

続きまして、第3款民生費では、「地域福祉担い手育成事業の事業期間が延伸された理由及び重層的支援体制移行業務委託料の業務内容について伺う」との質疑に対しまして、「令和元年度から3カ年で実施する予定であった地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業は、法改正により、令和3年度から重層的支援体制整備事業に移行することとなり、令和5年度まで、体制整備の期間に充てることが可能となった。重層的支援体制移行業務委託料は、市と共に事務局を担う、大竹市社会福祉協議会・医療法人社団知仁会に対して支払われる費用である」との答弁がございました。

続きまして、第4款衛生費では、「ごみ処理場維持管理事業の委託料が前年度と比較し5,000万円の増額となった理由について伺う」との質疑に対しまして、「令和4年度から、これまで直営で行ってきたリサイクルセンターの現業業務が民間委託される。3月当初、入札により、本市に営業所を有し、現在、一般廃棄物収集運搬業務を受託している株式会社ISCが落札した。民間委託に係る不燃物処理場運転管理業務委託料6,554万8,000円が新規委託料として増額となったが、令和3年度までシルバー人材センターに委託していた資源・不燃ごみ分別業務委託料1,245万1,000円、資源物分別指導及び分別業務委託料222万円、不燃物処理機械運転及び保守点検業務委託料222万6,000円の業務は、株式会社ISCの受託業務に含まれ、減額となった」との答弁がございました。

続きまして、第5款労働費では、「講師等謝礼が3万円に減額されているが、減額分について新しい事業の展開はできないのか。また、勤労者支援施策の充実ができないか伺う」との質疑に対しまして、「働き方改革等の講習会、研修会について、大竹商工会議所と連携し、共同で幅広く事業を実施する方向で進めており、事業を縮小したわけではない。また、減額した額に係る、勤労者支援施策として新規事業の展開について、今のところ検討はしていない」との答弁がございました。

続きまして、第6款農林水産業費では、「鳥獣被害防止対策支援事業に係る取り組みと、狩猟免許取得等補助金の利用状況について伺う」との質疑に対しまして、「本市における鳥獣の被害はイノシシが主な要因で、3月9日現在、猟期を含め、イノシシを205頭捕獲している。農業被害面積、被害額は、近年、減少傾向にあるが、住民の方からの相談は依然として多く、沿岸地域での目撃連絡や相談がふえている。本市では、鳥獣防止対策支援事業として、令和3年度は事業費を増額するとともに、狩猟者の確保を目的として免許取得に対する支援を新たに設けたが、利用はなかった。令和4年度は、新たに国の交付金を活用して、被害防止の強化を図り、農業被害の防止に向け取り組んでいきたい」との答弁がございました。

続きまして、第7款商工費では、「地域経済活性化事業補助金の内容、目的及び6次産業化の推進について伺う」との質疑に対しまして、「地域経済活性化事業補助金は、大竹市の魅力の発信と地域経済の活性化を図ることを目的に、商品の開発・改良、販路開拓、創業の事業に取り組む、本市に事業所を有する中小事業者または本市で創業する方を対象として、補助金を交付するものである。また、商品開発・改良の事業はふるさと納税の返礼品として登録できる本市で生産された商品または主要な原材料が本市で製造されている商品等の対象となるため、返礼品の仕組みを利用して商品のPRをし、本市の製品の魅力を広めることを目標とする。補助金は、商品の開発・改良は250万円、販路開拓は10万円、創業で60万円を上限として、対象経費の2分の1を補助するものである。この補助金は農林漁業者も活用することもできるため、6次産業化の支援になればと考えている」との答弁がございました。

続きまして、第8款土木費及び第11款災害復旧費は、関連がありますので、一括して審査をいたしました。

本2件の審査では、まず、「私道舗装工事費補助金について、平成21年の制度開始以降、どれくらい工事があったのか。また、今年度の工事の受益者数と場所について伺う」との質疑に対しまして、「平成21年4月1日に大竹市私道舗装等工事費補助金交付要綱を施行以来、平成21年度に1件、平成23年度に3件、平成30年度に1件、令和元年度に1件の補助を行っている。令和4年度で予定している箇所は、南栄3丁目の住吉神社下の、道路幅5.3メートル、延長が58メートルの共有道路で、受益者世帯数は11世帯である」との答弁がございました。

次に、「大竹駅自由通路等維持管理事業の事業内容について伺う」との質疑に対しまして、「供用開始後の自由通路のトイレ、通路、階段の水道料金、電気料金、清掃費、東口・西口のエレベーターの保守管理費である。供用開始の正式な時期はまだ決まっていないが、3カ月分を計上している」との答弁がございました。

続きまして、第9款消防費では、「救急救命士有資格者が増員されることは、高齢化が進む中において必要であると考え。241万円の予算で何人養成するのか伺う。また、消防団一般事務の報酬が前年度比1,386万3,000円の増額となっている理由について伺う」との質疑に対しまして、「まず、救急救命士養成は隔年で1名を計画しており、令和4年度が当該年度となる。次に、消防団一般事務の報酬増額理由は、消防団員の処遇改善のため、

国が基準年額報酬を改めたことにより、本市においても同様に改め、550万7,000円の増額となった。また、出動手当は令和3年度までは消防団活動推進事業の費用弁償から支出されていたが、令和4年度からは消防団一般事務の出動報酬に費目が移行され、835万6,000円の増額となったためである。今後においても、消防団員の確保に努めていきたい」との答弁がございました。

続きまして、第10款教育費では、「小・中学校のICT支援員の業務内容について伺う」との質疑に対しまして、「令和3年9月より支援員の配置を開始し、令和4年4月より支援員が1カ月18日で、市内の小・中学校を1日1校巡回する予定である。ICTの活用は教職員にハードルが高く、授業や教材アプリの効果的な活用方法のアドバイスなどを行っている。また、支援員がさまざまな学校を巡回することで、他の学校が実践している事例を共有することができている」との答弁がございました。

続きまして、第12款公債費、第13款予備費については、いずれも質疑はございませんでした。

続きまして、歳入における一括質疑では、「臨時財政対策債が減少しているが、その理由について伺う」との質疑に対しまして、「予算編成においては、普通交付税と臨時財政対策債を一体で組み、その後、振り分ける。振り分けの際には、国が作成する地方財政計画を参考にしており、令和4年度は、地方税等の伸びにより、臨時財政対策債が大幅に減少するという内容になっている。市の予算も臨時財政対策債への割り振りを減らしたため、去年と比べると大きく減っている」との答弁がございました。

続きまして、歳入歳出全般にわたる総括質疑では、「自主財源と依存財源について、自主財源の比率が高いほうが財政運営が安定しているという記述がある一方で、自主財源と依存財源の比率が安定しているほうが望ましいという記述もある。財政運営にあたってはどちらがよいのか伺う」との質疑に対しまして、「依存財源に地方債が入る。大規模事業を実施すると地方債の額がふえるため、そのタイミングでは依存財源がふえることになる。そのような要素がなければ、自主財源と依存財源の比率は、基本的には大きな変化がなく、安定して推移すると考えている。一般的には、自主財源が半分を超えている方がよいのではないかと思っている」との答弁がございました。

続きまして、特別会計及び企業会計予算の審査における主な質疑・答弁を、審査した会計順に、御報告申し上げます。

大竹市国民健康保険特別会計、大竹市介護保険特別会計、大竹市後期高齢者医療特別会計の3件につきましては、関連がありますので、一括して審査を行っております。

本3件の審査では、まず、「一般被保険者療養給付費が前年度と比較して9,694万9,000円減額となっている理由と、一般被保険者国民健康保険料が、前年度と比較して2,397万3,000円減額となっている理由を伺う」との質疑に対しまして、「療養給付費は、県が算出した数値を参考にし、予算計上している。県の算出方法は、大まかに言うと、被保険者数の推計値と、1人当たりの医療費の推計値を掛けて算出している。

療養給付費が減額となった主な理由は、被保険者数について、団塊の世代が令和4年度から後期高齢者に移行することを見込んでおり、その推計値が、前年度から減少したこと

によるものである。また、国民健康保険料は、療養給付費をベースとして予算額を算出しているため、被保険者数の推計値の減少という、同様の理由により減額となっている」との答弁がございました。

次に、「緊急通報システム管理運営委託料が前年度と比較して55万2,000円減額となっている理由を伺う」との質疑に対しまして、「委託料は、緊急通報システムの利用者数をもとに算出している。減額の理由は、システムの利用者数の減少に伴い、過去の実績を考慮して、委託料を見直したためである。利用者数の減少の理由は、過去数年は新しくシステムを設置し利用を始める方よりも、死亡や入院、または高齢者施設に入所されることによりシステムを廃止し、利用をやめる方が多くなったためである」との答弁がございました。

続きまして、大竹市港湾施設管理受託特別会計では、「ヒアリ等調査委託金について、ヒアリだけではなく、セアカゴケグモやアルゼンチンアリ等の調査も行うのか。調査の対象や方法、頻度など、内容について伺う」との質疑に対しまして、「毎年、広島県と大竹港ヒアリ対策業務に関する覚書を締結して、調査を実施している。内容は、目視調査とトラップ調査を行っている。目視調査は、4月から10月の間は月2回、11月から3月の間は誘引剤を散布後、月1回行っている。調査は、大竹港のみで行っており、今のところヒアリは確認されていない。対象はヒアリとアカカミアリ、コカミアリである。セアカゴケグモとアルゼンチンアリ等は、この調査では対象となっていないが、大竹市としては適宜、駆除などの対応をしている」との答弁がございました。

続きまして、大竹市土地造成特別会計では、まず、「旧小方中学校グラウンド盛土工事として予算が700万円計上されているが、事業の内容について伺う」との質疑に対しまして、「旧小方中学校跡地に土砂を搬入し、搬入した土砂を盛土整地工事するための予算として700万円を計上している。現在は、岩国大竹道路事業における一時的な土砂の仮置きとして受け入れている。これが最終的に置ききることになれば、土砂を整地するということになるため、現在のところ未執行の状態が続いている。岩国大竹道路事業で利用するために土砂の搬出がなければ、整地するという予定で予算を計上している」との答弁がございました。

次に、「歳入の財産貸付収入の内容について伺う」との質疑に対しまして、「財産貸付収入については、晴海1丁目のゆめタウンの駐車場、旧小方中学校の体育館部分や職員駐車場用地、その他用地の貸付料を予算として計上している」との答弁がございました。

続きまして、大竹市水道事業会計、大竹市工業用水道事業会計につきましては、関連がありますので、一括して審査を行っております。

本2件の審査では、「令和5年4月から水道料金改定にあたり、市民への周知方法について伺う」との質疑に対しまして、「令和4年9月定例会にて議決を得た上で、広報及びホームページによる周知だけでなく、水道の検針票に料金改定に関するお知らせを印字し、周知する予定である」との答弁がございました。

続きまして、大竹市公共下水道事業会計、大竹市漁業集落排水特別会計、大竹市農業集落排水特別会計につきましては、関連がありますので、一括して審査を行っております。

本3件の審査では、「大竹排水区内水浸水想定区域図等作成業務について、令和3年度に作成した第1期の成果及び令和4年度に作成する第2期の内容を伺う」との質疑に対しまして、「さまざまな降雨のシミュレーションを行い、居住する区域にどの程度浸水のおそれがあるか把握してもらい、住民に平常時からの防災意識の向上と、自発的な避難の心構えを持っていただくことを目的として作成するものである。第1期では、大竹第1排水区及び第2排水区を作成した。エリアは元町4丁目から立戸3丁目、御園の新町川までの間について作成した。第2期では、防鹿地区及び、市街化区域のうち、第1期で作成した区域以外について作成する予定である」との答弁がございました。

以上で、全ての会計の質疑を終結し、討論に入りました。

一般会計では、討論はなく、一般会計当初予算案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

続きまして、特別会計及び企業会計の10件では、討論はなく、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しております。

3日間にわたった予算特別委員会では、委員各位による慎重かつ熱心な審査が行われました。

また、執行部におかれましては、審査の過程で出されました意見や提案について、十分検討されて、予算執行されますよう要望いたします。

終わりに、連日にわたり明確で丁寧な対応をいただきました執行部の皆様に、厚くお礼を申し上げます。

以上で、委員長報告を終わります。よろしくお願ひします。

○議長（賀屋幸治） ただいまの委員長の報告に対し、これより一括質疑に入ります。

質疑の通告は受けておりませんが、質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 質疑なしと認めます。

これをもって、質疑を終結いたします。

これより一括討論に入ります。討論の通告を受けておりますので、発言を許可します。

4番、小中真樹雄議員。

○4番（小中真樹雄） 賛成の立場から発言させていただきます。

例えば、友達が転ぶ。ああ痛かったらうな、と感じる気持ちを、そのつど自分で作り上げていきさえすればよい。この根っこの感情が、自己の中でしっかり根づいていけば、他民族へのいたわりという気持ちもわき出てくる。君たちさえ、そういう自己をつくっていけば、二十一世紀は人類が仲良しで暮らせる時代になるにちがいない。司馬遼太郎の、「21世紀に生きる君たちへ」の一節です。

私は、令和4年度当初予算案について、異論を差し挟むつもりはありません。ただ、人を育てること、これは100年の大計です。大竹市から世界に羽ばたく人材が出ることは、爽快ではないですか。子供たちを大切にしましょう。大竹市にとどまろうとそうでなかろうとも、この思いを真摯に受け止めてください。

令和4年度当初予算案には賛成します。

そして、最後に一言述べさせていただきたいと思います。私の最も敬愛する作家、藤沢周平は、常々普通が一番と語っていました。今ほどこの言葉が心に響くことはありません。普通の日常を奪われ、戦火に苦しむウクライナの人々に、一日も早く安心して暮らせる日々が戻ることを心よりお祈り申し上げます。

以上です。

○議長（賀屋幸治） 続いて、3番、原田孝徳議員。

○3番（原田孝徳） では、一般会計につきまして、意見を付して賛成討論をさせていただきます。

再編交付金にかわる交付金の使途についてでございますが、予算特別委員会の中で、同僚議員の質問にもありましたように、私も同様にハコやモノからヒトへの投資をすべきだという意見であります。

それでこの交付金についてですが、阿多田島の島民の大変な我慢の上にあるものだと私は考えておりますので、まだまだ阿多田島に対するその配分は少ないように、私は感じております。例えば阿多田島の観光振興に交付金を充てることで、来島者をふやし運賃の増収を図ることで、島民のフェリー運賃を無料化するなど、移動の負担軽減策は必要であると考えますし、ハード事業の大切さも大変理解はできますけれども、交付金がなくなった後の維持管理費は、予測はできませんし、将来に負担を強いることにもなりかねません。それよりも、今住んでいる住民の方々に幸せを実感してもらうことこそが、何よりこのまちの未来になると考えております。

また、長い間リハビリ温水プールが使用できなくなっております。来年度検討業務の予算が組まれてはおりますけれども、高齢者の健康づくりや障害児・障害者のストレスを軽減する場所としては欠かせないものだと思いますので、そこに第一に目を向けてほしかったというのが、私の正直な思いであります。

阿多田島の観光振興、それに伴う移動の負担軽減策、そして、リハビリ温水プールの修繕について主要な事業として取り上げられなかったことは、非常に残念ではありますが、一般会計全般について反対するものではありませんので、これらのことについてはぜひ再来年度から優先的・積極的に取り組んでほしいというのが、私の意見であります。

この意見をつけさせていただいて、賛成討論とさせていただきます。

以上です。

○議長（賀屋幸治） 他に討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 討論なしと認めます。

これをもって、討論を終結いたします。

ただいま議題となっております本11件を一括採決いたします。

本11件に関する委員長の報告は、原案可決であります。本件は委員長の報告のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 御異議なしと認めます。

よって、本11件は原案のとおり可決されました。

~~~~~○~~~~~

### 日程第13 議員派遣について

○議長（賀屋幸治） 日程第13、議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

議員派遣については、サイドブックに掲載のとおり派遣することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 御異議なしと認めます。

よって、議員派遣については、サイドブックに掲載のとおり派遣することに決しました。

この際、お諮りいたします。

ただいま決定をいただきました議員派遣の内容につきましては、諸般の事情により変更が生じる場合には、議長に一任をお願いしたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 御異議なしと認めます。

よって、諸般の事情により変更が生じる場合は、議長に一任することに決しました。

お諮りいたします。

本日、議決されました各案件につきまして、その条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任されたいと思います。

これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（賀屋幸治） 御異議なしと認めます。

よって、条項、字句、数字、その他の整理は、議長に委任することに決定いたしました。

以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

定例会閉会にあたり、市長から挨拶がございます。

市長。

○市長（入山欣郎） 本日ここに、大竹市議会定例会を閉会するにあたりまして、御挨拶を申し上げます。

このたびの定例会は、去る3月2日に開会され、本日までの間、議員各位におかれましては、御提案申し上げました各案件を終始熱心に御審議いただき、誠にありがとうございました。

令和4年度の当初予算をはじめ、いずれの案件につきましても、議決あるいは認定を賜りました。心より御礼を申し上げます。

なお、本会議並びに各委員会などにおきまして皆様からいただきました貴重な御意見・御要望につきましては、これを十分に検討させていただき、今後の市政運営に反映させてまいりたいと考えております。

長引くコロナ禍により、今後も厳しい経済情勢が続くものと思いますが、市民の皆様、

議会、行政が信頼し合い、地域を思う絆を大切にして、よいまち大竹、誇りに思える大竹を実現できるよう力を合わせ、取り組んでまいりたいと考えております。

議員の皆様におかれましては、どうか引き続きましての御指導・御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（賀屋幸治） これにて本日の会議を閉じ、第2回大竹市議会定例会を閉会いたします。

10時30分 閉会

上記、会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年3月25日

大竹市議会議長 賀屋 幸治

大竹市議会議員 藤川 和弘

大竹市議会議員 原田 孝徳